



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

# わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ  
http://waka-kusa.net/

発行  
志津南地区自治連合会  
連絡先  
志津南市民センター  
(公民館) 563-6206

## リーダー養成講座に参加 連帯感と協調性身につける



草津市の子ども会指導者連絡協議会は毎年、草津市の小学校6年生の希望者を対象に、1年間を通してリーダー養成講座を開催しています。集団生活を通して、連帯感と協調性を養い、仲間意識を高め、地域の子ども会のリーダーとして活躍できる基礎を固めることが目的です。本年度は、草津市全域から約90人の参加があり、志津南地区からは1人がこの講座に参加しました。

講座は、年間7回開催され、1、2回目、開講式とゲーム指導。3回目、ミニキャンプ。4回目、夏休みに奈良の曾爾少年自然の家で、3泊4日のアドベンチャーキャンプ。5回目は福祉体験。6回目は共同募金活動と続き、7回目はミニキャンプで閉講しました。

志津南からは1人だけとあって、最初は知り合いもいなく寂しそうでしたが、講座が始まると班単位の活動となり、すぐに友達ができて楽しそうに活動していました。

ミニキャンプやアドベンチャーキャンプでは、食事を材料から自分たちで作ります。中学生や高校生のジュニアリーダーの指導を受け、時には怒られながら、食事の準備をしました。ほとんどの子どもは、家族が毎日食事を用意してくれる常と違って、いかに大変かを感じ取ってくれたことと思います。

6回目の講座は、年末に草津駅周辺で募金活動を行いました。寒い中でしたが、困っている人のためにたくさんお金を集めることができ、子どもたちは達成感を持ったようでした。

来年度以降もこの活動は継続されますので、6年生になったら、ぜひ参加されるよう保護者の方々にお勧めします。

(子ども会)

### 新学期に寄せて

志津南小学校校長

馬場 豊



さまざまなか場で指摘された最近の子どものマイナスイメージについて特徴的な三点を紹介、今年の教育活動に反映させたいと考えます。

第一点は、物事を最後までやりとげて満足した経験や自分に満足していると感じている子どもが少ないこと。

第二点は、人が困っている時に進んで助けるなど、思いやりや実践的態度に欠けること。

第三点は、お年寄りや体の不自由な人とかかわりの体験が少ないこと。です。

これを見てみると、多かれ少

なかれ本校の子どもたちも同じような傾向を持っているのではないかと思います。

## 地域の教育力を学校に

「ほめて育てる」ということがここ数年言われ続けています。私は何でもかんでもほめてしまつと、それが子どもにとって単なる空気のような言葉になつてしまつのではないかと危惧します。私は、一人の子どもが何かを「仕上げかけた時」あるいは「仕上げた時」、すかさず「うわぁー、がんばつ

ます。私は何でもかんでもほめてしまつと、それが子どもにとって単なる空気のような言葉になつてしまつのではないかと危惧します。私は、一人の子どもが何かを「仕上げかけた時」あるいは「仕上げた時」、すかさず「うわぁー、がんばつ

たね。すばらしい」と声に出してほめることが大事だと考えます。

私たちが大人にとっては当たり前のことでも、子どもは「できた」と自覚しているの、それを認めることによって充実感を増進させることが大事だといふことです。それが積み重なつ

て、自分を大切にしている心がかかりと根付いてくるのだと思ひます。

自分を大切にしている心、自尊心ともいいますが、まずは小さいときからしっかりと育てていくことが大切です。これは、先ほどの第二点、第三点にも大

きくかかわってくるのです。自尊心が豊かな子どもは、困っている人に対して思いやりを持って接していけるのです。

そこで、本校ではできるだけ多くの方々にきていただき、子どもたちと接していただき、と思つていきますし、特に体の不自由な方々とは、話を聞かせていただいたり、車イスを体験したり、盲導犬と接するなど多くの体験を教育的な意図を持って取り組んでいます。これが教育の基本だと考えているからです。

どうか、こうした意図をくみ取っていただき、今後とも本校教育に保護者、地域のみならず、まのお力添えをいただきたくお願いいたします。

どうか、こうした意図をくみ取っていただき、今後とも本校教育に保護者、地域のみならず、まのお力添えをいただきたくお願いいたします。

### 町内会総会日程

平成21年度の各町内会総会が次の通り開催されます。

3月21日(土)

若草一丁目から若草五丁目

3月22日(日)

若草六丁目から若草八丁目と岡本町西

詳しくは各ご家庭に配布の総会案内をご覧ください。

# にぎやかに餅つき大会

## わんぱくと地域協働合校共催



見慣れない道具を前に興味津々。お手伝いの皆さんが蒸し米を臼の中でこねて準備を始めると子どもたちもグループに分かれて大根をおろしたり、アンコを丸めるなど準備整えます。ひと臼つき上がることに、今

日のメニューのおろし餅、きなこ餅、あん餅、いそべ餅に仕立てて口へ運び、つきたてを賞味したあと、子どもたちは順番に小さな杵を振り上げて、力いっぱい餅つき体験。さらにチーム対抗間違い探しゲームにもチャレンジしました。子どもたちは食べ切れなかったお餅を持参の弁当箱に入れ、満足気に持ち帰りました。

# 風船でアンパンマン 「ごどものため」とママ奮闘

志津南市民センター（公民館）は2月26日、「親子のふれあい」をテーマに第3回家庭教育支援講座を開催しました。地域ボランティアとして活躍されている山添敦子さんを講師

に迎え、子どもに人気のアニメキャラクターを風船で作るということで、子育て真最中の若いお母さんと幼い子どもたち44人が参加しました。まずは、講師が準備した赤・青・白・黄色の風船を並べたカラフルなトンネルを、親子でくぐって体と心をほぐしたあと、細長い風船を2つ使って、花作りに挑戦しました。



親子で風船のトンネルをくぐる

慣れないうちは、途中で風船が割れたり、しぼんでしまったりしましたが、子どもたちの声援を受けて次々に

# 「おうちパティシエ」が活躍



かわいらしい花が完成していききました。さらに雪ダルマやアンパンマンづくりに挑戦。お母さんたちは悪戦苦闘しながらもオレン

ジの風船が大好きなアンパンマンに変身すると子どもたちは大喜び。キャラクター風船を両手に、飛び回っていました。

# 色鉛筆画に挑戦



2回目は、リクエストメニューで、りんごのケーキ、黒ごまプリンと餅を使ったイチゴ大福、キャラットピラフを前回以上に手際よく仕上げていきました。日ごろはベテラン主婦の「おうちパティシエ」たちは、作りたてのおやつを手に、家族の笑顔を思い浮かべながら、栄養士さんからの話を聞いて、食べることの大切さや自分で作ることの安心感を再確認しました。

正できる手軽さながら、デッサンは初めてで緊張...という受講生たちは、初めのうちは少し戸惑いを隠せない様子でしたが、講師の丁寧な指導を受けながら真剣な表情で画材の野菜や果物、花などをスケッチブックにやさしい色使いで描きあげていきま

志津南市民センター（公民館）はバレンタインデー前日の2月13日と20日、「おうちパティシエの楽しい、うれしいおやつ&軽食」をテーマに食育講座を開催、10人が参加しました。食の安全に不安を抱くこと

志津南市民センター（公民館）は2月14日と3月3日の両日、湖南省の画家・樫原喜六さんを講師に招き、ENJOY・MY・LIFE「色鉛筆画に挑戦」と題して、教養文化講座を開催しました。写真。普段使わなくなった色鉛筆で絵を描き、消しゴムを使って修

水彩画や油絵とは一味違った色鉛筆画を体験した受講生の一人は「日常や非日常の世界でさまざまなものを自由に描けるようになってみたい」とやる気を見せていました。同講座は3月17日にも開催して作品を仕上げることにしています。

# 南小一年生と住民が交流

## こま回しなど昔遊びで



と一緒を楽しみました。写真。交流研修会のおと、参加者からは、一年生との交流を「まだまだ可愛い孫か曾孫のようで楽しく参加できて本当にうれしいと思います」との声が聞かれました。また中にはなかなか上手にできないものもあり、懐かしい「隣組」の歌にある「教えられ

たり、教えたり」で助けあいの心思い出された様子でした。今回の交流会に参加出来たことは若寿会の皆さん、その他ボランティアの皆さんたちも孫、曾孫さんに教えているように見えてほほえましく、時間の過ぎるのが早い思いでした。21年度は児童数も増える見込みで、今後の交流会も若寿会や他のボランティアの皆さんの多くのご参加が望まれます。(老人クラブ若寿会)

## 楽しくふれあいコンサート

### 「カルテットEです」迎え

志津南小一年生52人のと交流研修会が2月22日、同小で開かれ、若寿会を中心に地域のボランティアの皆さん26人が参加しました。

志津南地区社会福祉協議会では、地域の皆さんとより交流を深め、楽しくて心を癒されるひと時を。そんな思いを込めて2月22日、市民センターに

「カルテットEです」を迎え、ふれあいコンサートを開催しました。写真。前半は「アメーzing・グレイス」「ジューピター」「アルハン

ブラの思い出」「笛と湖」などの演奏に耳を傾け、歌声喫茶では「うれしいひなまつり」「朧月夜」「早春賦」「北国の春」など春にちなんだ歌を歌いました。今回はオカリナ、篠笛など、いろいろな笛の演奏があり、バナナや魚の型のオカリナに驚きの連続でした。お茶とお菓子の休憩で楽しい時間を過ごし、後半は懐かしの「オールディーズ



- 3月14日(土) 高穂中学校卒業式 9:15~
- 3月17日(火) 教養文化講座(色鉛筆画) ENJOY MY LIFE 9:30~12:00 地域福祉懇談会研修 9:30~14:30 京都市民防災センター
- 3月18日(水) やすらぎ学級閉講式&お楽しみ会 9:15~16:30
- 3月19日(木) 志津南小学校卒業式 9:15~11:00
- 3月20日(金・祝) 合唱祭 13:00~15:40 草津アミカホール
- 3月21日(土) 若草くるみ保育園卒園式 10:00~11:00 健康ウォーキング 8:45 若草中央公園集合
- 3月28日(土) 社協の囲碁ボール大会 9:00~12:00 社会奉仕(若寿会) 8:45 若草中央公園集合
- 4月3日(金) ふれあい昼食会 12:00~13:00 ボランティア「泉」
- 4月4日(土) 健康ウォーキング 8:45 若草中央公園集合 若寿会
- 4月4日(土) 健康ウォーキング 8:45 若草中央公園集合 若寿会
- 4月7日(火) 地域サロン:懐メロを歌う会 10:00~11:30

印の場所は志津南市民センター(公民館)です。

## 児童の安全確保に全力

### 社協ボランティア部会が確認



児童を誘導するボランティア

社協ボランティア部会は2月10日、志津南小学校会議室で学区児童の安全を守るための安全パトロール会議を開き、活動をより充実していくことを確認しました。平成16年度からの志津南小学校通学区区域変更に伴い、追分町や岡本町の一部の児童も同校に通学しています。登下校の安全をはかるため、当初は先生、民生委員でパトロールしていましたが、各地で子

もが事件に巻き込まれるケースが増え、パトロールを強化する必要性が高まったことから、社会福祉協議会でボランティアの安全パトロール班を立ち上げました。パトロールは校地内の見周りのほか、近年、青山方面や追分方面の開発が急テンポで進み、当団地内の交通量(自転車も含む)の増大に伴い、子供たちの登下校時の安全を少しでも確保できるよう、休校日以外、若草一丁目中央交差点を含め、志津南地区内の主だった交差点、団地内の十字路等で立ち番や誘導をしています。平成21年度も児童数の増加が見込まれることから、現在8人のメンバーでは十分とは言えず、もっと参加者が増えることを願っています。(社協ボランティア部会)

ドレー」。みんなで「いい日旅立ち」「いつでも夢を」、前回人気投票第一位だった「琵琶湖周航の歌」を大合唱。最後は「ラデツキー行進曲」を軽やかにみんなで手拍子。素晴らしい演奏が60人の参加者を魅了しました。(社会福祉協議会福祉部)

# サウズワ歳

「囲碁ボール」という遊び、いや競技をご存知だろうか。

縦5枚、横2枚の人工芝マット上に設けられた7×7、49個の碁盤の「目」(穴)にスティックで打った白と黒のボールを入れて並んだ目の数を競う、手取り早くいえば「五目並べ」をイメージしてもらえばいい。

もう少し詳しく言うと、競技は2チーム(人数は1チーム大体5〜6人)に分かれ、一人づつ交互に直径7センチの硬質プラスチック製のボール(白黒各10個



敵をくじき味方を助ける一打になるか

を木製のスティックで碁盤上に打っていく。ボールが穴の上に並んだ数(ポイント)で勝敗を決める。

だから相手のボールをはじいて場外に追い出したり、味方の列ができるように打っていく技術が求められる。ゴルフのバツト感覚が生きるそうだ。

わが「囲碁ボールクラブ」も二ニュースポーツの普及を図る志

きっているそうだ。

## 囲碁ボールクラブ

### 和気あいあいと白黒つける

津南体育振興会のデモンストレーションがきっかけとなって平成18年秋に誕生した。現在は男女各6人、計12人の会員が志津南市民センター(公民館)で競技を楽しんでいる。

体力を必要とせず、手軽にできることから、どちらかと言えば、お年寄り向きといえる。実際、現場をのぞいて見ると妙齢?の男女が人工芝マットを

はさんで、ボールがマットの外に出ると、「行ってらっしゃい、なんでもその昔、囲碁好きの殿様が領民の土地争いを囲

わが「囲碁ボールクラブ」も二ニュースポーツの普及を図る志きっているそうだ。

か」とAランクに位置づけているような。

一つの穴に白ボールと黒ボールが顔を寄せるように顔をのぞかせているケースもしばしばだが、審判が文字通り白黒をつけることになる。そんな場合でも「目の色が変わるようなことには決してならない」(和田基さん、5丁目)。

メンバの一人、垣根和子さん(5丁目)は「ひやかしたり、やじったりするが、無邪気なもの。友だち感覚で楽しめるのがいい」とぞつこん。競技は競技として合間に「お茶する」のが楽しいという声も聞かれる。

もっと多くの人に参加してもらい、もっと多くの人と仲良くしたい、そんなメッセージが発せられているような気がした。

代表 杉田 朋子

活動 毎月第一、第二、第三、水曜日、午後1時〜3時

場所 志津南市民センター

会費 月額200円

連絡先 杉田代表

電話(565)9593

## もっとわくわく

### やすらぎ学級生募集



志津南市民センター(公民館)では「やすらぎ学級」の受講生を募集いたします。一年間を通して環境や福祉、人権などの課題学習をはじめ、音楽鑑賞や

志津南市民センター(公民館)では「やすらぎ学級」の受講生を募集いたします。一年間を通して環境や福祉、人権などの課題学習をはじめ、音楽鑑賞や

館外研修などの楽しいテーマを計画しています。  
対象 市内の60歳以上の入講座  
4月〜翌年3月の毎月第4水曜日、午後1時30分〜3時(全12回)  
場所 市民センターほか  
会費 年間千円(市の受講料600円を含む)  
問い合わせ、申し込みは市民センター(公民館)まで。  
電話 563 6206



住みかの町で、すれ違った時や出会った時、バス停でおはよう、こんにちはとあいさつされたら怒りますか。いいえ、うれしいですね。気持ちよい元気がもらえますね。子どもものころを過ごした故郷では当たり前のごとでした。

## ふれあい

近隣合わせて500軒ほどの小さな集落でしたが皆自然に暮らしていました。よその子どもでも悪いことをした時は容赦なく叱られ、子どもたちもそれを自然に受け止めていました。

「ありがとうございます」と「ごめんなさい」を教えてきました。こうしたことを通して、子どもたち、孫たちが懐かしんでくれる町づくりをみんなで進めていきませんか。きっとふれあいが多くなり楽しみが増えることでしょう。

「あのおばちゃんは怖いよ。あのおじちゃんにもよく叱られる

「ありがとうございます」と「ごめんなさい」を教えてきました。こうしたことを通して、子どもたち、孫たちが懐かしんでくれる町づくりをみんなで進めていきませんか。きっとふれあいが多くなり楽しみが増えることでしょう。

「あのおばちゃんは怖いよ。あのおじちゃんにもよく叱られる

「ありがとうございます」と「ごめんなさい」を教えてきました。こうしたことを通して、子どもたち、孫たちが懐かしんでくれる町づくりをみんなで進めていきませんか。きっとふれあいが多くなり楽しみが増えることでしょう。

(若草5丁目 E0)